

平成28年11月定例会議事録

平成28年11月10日

鹿屋市教育委員会

○日 時 平成28年11月10日（木）
15時から16時05分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	風 呂 井 敬
教育委員	志 村 正 子
教育委員	蓑 田 繼 男
教育委員	黒羽子ひとみ

○関係者

教育次長	川 畑 晴 彦
教育総務課長	深 水 俊 彦
学校教育課長	中 山 春 年
生涯学習課長	榊 眞 一
教育総務課長補佐	有 村 道 尚
教育総務課管理係長	浅 井 和 成

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
- 5 報告
 - (1) 台風16号災害復旧状況について
 - (2) 平成29年度鹿屋市教育委員会の予算編成方針について
 - (3) 平成29年度鹿屋看護専門学校入学生募集等について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件 名	審議の状況	採決次第
議案第号	なし		

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>各学校2学期においては運動会や文化祭があり、委員の方にも学校行事等に足を運んでいただき感謝している。私の感想としては、どの学校も一生懸命頑張ったなど学校訪問で実感した。</p> <p>12月議会が始まる11月25日に、全員協議会で議員に女子高活性化の説明を行う予定である。</p> <p>今年度の反省と同時に、来年度の計画も予算も含めて計画を立てなければならない。次年度に本市小中学校の中からテーマを決めて研究発表をする研究校の模索や、来年度以降の児童数等をみると、小規模校においては児童生徒数が減っていく傾向にあるため、学校統合を視野に入れながら今後計画的に検討していかなければならない時期を迎えている。そういう中で、明日総合教育会議があるが、市長と一緒に女子高の具体的なことも含めて話をさせていただけたらと思っている。</p>
2	前回の議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
志村委員	<p>市町村連絡協議会の研修へ参加させていただいた。講話が三つあり、一つ目は、県義務教育課長から「昨今の課題に関する私なりの視点」という題で、鹿児島県の現状に厳しい課題もあるが、そこに希望が持てるような分析も含まれた分かりやすく、志の高さを感じるとても印象に残る講話であった。</p> <p>二つ目は、県消費生活センター所長、また消費者行政推進室係長からは「若年者の消費者トラブルについて」の講話があり、いろいろなトラブルがあるのだと知る機会であり勉強になった。</p> <p>三つ目は、増田クリニックの増田彰則院長による「睡眠不足とネットゲーム・スマホから子どもの脳を守る」という講話で、脳の発達に与える睡眠の大切さ、ネットゲームやスマホが与える成長への影響等をいろいろなデータを参考に説明があった。また、最新のデータから全国的にはネット依存の可能性有りの生徒が約8.1%であったのに対し、県下では約18%という結果であった。県下で頑張っている割には、学力成果につながっていないのではないかという、とても興味深いものであった。</p>

4	議事
教育長	本日は、議事はない。
5	報告
教育総務課長	<p>(1) 台風16号災害復旧状況について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>(2) 平成29年度鹿屋市教育委員会の予算編成方針について</p> <p>資料に基づき説明</p>
各課長	資料に基づき説明
風呂井委員	各課次年度の政策予算はどれくらいか。
教育総務課長	政策予算は7億7,000万円、経常予算は4億4,000万円である。
学校教育課長	政策予算は1億9,329万円、経常は8億3,028万円である。
生涯学習課長	政策予算は6,900万円、経常は1,000万円である。
風呂井委員	今年度予算と比べて増減はあるのか。
教育長	今年度の台風被害による修繕等も含めた学校施設の整備、また新事業に予算が組まれているため、どの課も増額している。削れるところはしっかりと削り、取り組んでいく予定である。
志村委員	中学教諭先進校派遣研修の派遣先は、なぜ伊敷中なのか。
学校教育課長	派遣先は県の研究指定校であり、鹿児島大学教育学部の実習校になっている伊敷中と附属中の2校である。伊敷中に関しては地元の子どもたちが通学する他中学校と同じ条件だが、学習指導や生徒指導がとても素晴らしいため派遣校先となっている。既に研修に行った先生方からは、授業や掃除等に取り組む生徒の姿勢がすばらしい等の意見がでている。

風呂井委員	鹿屋女子高活性化事業の域外入学者への支援とは、具体的にはどのような支援内容なのか。また、県内でこのような例はあるのか。
教育総務課長	<p>市外の入学希望者から寮の有無の問合せが増えている中、本市には下宿場所がほとんどなく、部活動が強い高校への入学希望者がいても受皿がない状況である。そのため、地元の不動産と相談をしながら来年か再来年には、家族向きの3LDKくらいでオートロック等がついた安全性が高い賃貸マンションに生徒3人程度のシェアハウス希望者を受け入れる予定である。将来的には、女子高の建設に併わせて寮の整備も目指している。</p> <p>県内の支援例では、市立高校で国分中央高校がある。</p>
黒羽子委員	女子高活性化の地域人材を活用した講師の投入とあるが具体的にはどういうことか。
教育総務課長	資料に基づき説明
黒羽子委員	鹿屋寺子屋事業は半年ほどたったが、現状はどうか。
生涯学習課長	<p>金曜日は学校の宿題をする等で参加率が高いが、土曜日は郷土愛を育てるということで郷土を巡る活動となっているが、少年団や他用事等で参加率が低い。課題として、土曜日の参加率を上げるために来年は工夫をしていくこと、そして、指導者1人に対し児童24人では対応が厳しいとのことで、来年度から各教室指導者2人体制にする予定である。</p> <p>(3) 平成29年度鹿屋看護専門学校入学生募集等について</p>
学校教育課長	資料に基づき説明
教育総務課長	資料に基づき説明
志村委員	平成30年度以後に民間譲渡の動向とは具体的にどういうことか。
教育長	市が看護専門学校を運営しているスタイルは異例中の異例であり、普通は医師会が運営している。いろいろな経費もかかる等の問題もあることから、このまま抱え続けるのかという声もある中で、今までも継続的に運営に関してはいろいろな道を探ってきている経緯もある。

風呂井委員	<p>できたら活性化して非常に良い学校として運営できることにこしたことはないが、今後を考えると違う運営スタイルも研究しておかなければならない。今すぐに動きがあるということではない。</p> <p>例年、生徒募集30人に対して応募は何人あるのか。</p>
教育総務課長	<p>今年4月の入学者は、推薦入試は13人中12人合格入学し、一般入試は48人中36人が合格した内18人が入学している。</p>
6	動議の討論
教育長	<p>発言がないので、動議はないものとする。</p>
7	その他
教育長	<p>次回の定例教育委員会は12月9日(金)15時から教育長室で、移動教育委員会は1月13日(金)13時30分から西原地区で行う。</p>
8	閉会
教育長	<p>以上をもって11月定例教育委員会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>